



Smile

FREE MAGAZINE

2016 秋号

NO.009

2016.11.1発行

『 改装大特集 』



NO.009

TOPICS

「スマイル」 Smile

発行人 株式会社 日本動物医療センター

編集長 相澤菜野

編集・構成 小池百恵 竹田祐子

杉浦慧斗 本間梨絵

発行所 〒151-0071

東京都渋谷区本町6-22-3

[改装特集]

- 4 1F：犬待合室/ねこ・うさぎ専用ロビー
犬診察室
エマージェンシー室（1F・3F・4F）
- 8 2F：検査機器紹介
手術室（手術室1、手術室2）
スタッフロビー
- 13 3F：ねこ/診察室・入院室・ICU（集中治療室）
うさぎ/診察室・入院室
- 17 4F：犬/入院室・ICU（集中治療室）
隔離室
屋上

「ねこは家につく」

「犬は人につく」

なんて言いますが、

ちょうど近くまで来たから・・・とか

やっぱりここが安心・・・とか

動物たちが思ってくれてたら一番うれしいですけど

[information]

- 18 スタッフ紹介
- 19 院内セミナースケジュール・
他各種お知らせ

「みんなが病院につく」

そんな病院になったらいいなあと考えています



【表紙の写真】

廣田 メルちゃん

おめでとうございます!!

～スタッフからのコメント～

「いつも可愛いメルちゃん♪
シャンプーに来てくれるのを
楽しみに待っていますね♪」



今回の Smile は『日本動物医療センター・改装特集』

新しくなるものと・・・

変わらないもの・・・

まだまだ未完成ですが、これからも私たちの理念に基づいて

“想いをもち 常に安心を提供する”

を創っていきたいと思います

完成までご不便・ご迷惑をお掛けすることも多々あるかとは思いますが

ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます

1F



犬待合室/ねこ・うさぎ専用ロビー

犬診察室

エマージェンシー室 (1F・3F・4F)





— 犬待合室 —

ガラス張りの入口を抜けると正面に受付カウンター、向かい合うようにコンシェルジュのカウンターがあります。その奥には”犬専用の待合室”が広がっています。外からの光が差し込み室内は明るく開放的、白と木の色調が優しい印象を与えます。



1.受付カウンター/総合受付カウンターです。
2.コンシェルジュカウンター/コンシェルジュが常駐しています。ご不明な点などお気軽にお声がけください。



3.ウォーターサーバー/ご自由にどうぞ(*^^*)
4.毎月更新フリーペーパー
5.マッサージクッション/待ち時間にご利用ください。
6.自動販売機/豆から挽く美味しいコーヒーをどうぞ。
7.犬柄のキャリーカバー/キャリーにかけてご使用下さい。



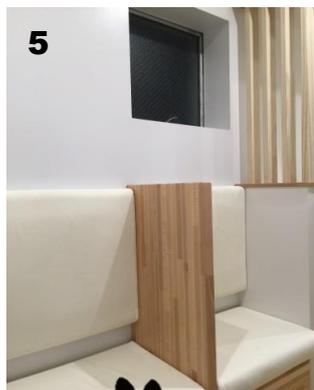


- 1.ねこ柄キャリーカバー/
お外がこわい子に！キャリーにかけてお待ちください。
- 2.雑誌/待ち時間の際にお読みください。その他院内のお知らせもございます。



— ねこ・うさぎ専用ロビー(1F) & ねこ・うさぎ専用待合室(3F) —

ガラス張りの入口を通り、右側には”ねこ・うさぎ専用ロビー”が広がっています。わんちゃんと目を合わせることなく受付から待合室へと移動できます。犬待合室と同じく白と木の色調が優しい印象を与えます。緊張しやすいねこちゃん・うさぎちゃんの為に周りを囲み安心できるような空間作りをしています。3Fはねこちゃん・うさぎちゃん専用フロア。わんちゃんの声は聞こえませんが、診察室もこの階になります。3F待合室も安心感を感じられるよう、1Fと同様に区切られた空間作りをしています。



- 3.4.ねこ待合室ソファ/2人掛けと1人掛けをご用意。1人掛けのソファには小さいテーブルを！キャリーを置くとねこちゃんと同じ目線に(*^^*)
- 5.うさぎ待合室ソファ/ねこ待合室とルーバーで区切られた空間にあり、個々に仕切りのあるソファをご用意しています。
- 6.3F専用トイレ



— 犬診察室 —

わんちゃんと飼い主様が安心して診察を受けられるように。

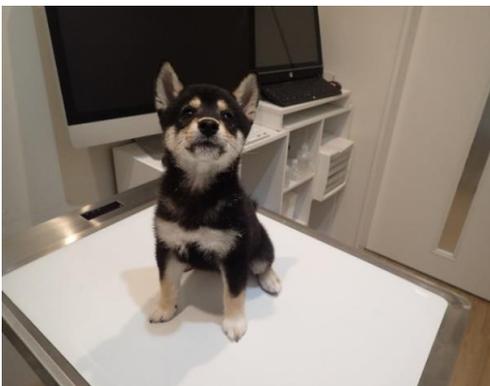


※造作家具作成中……
もうしばらくお待ちください

- 1.昇降式診察台/大型犬も安心！
高さ調節自由！
- 2.画像表示用ディスプレイ/レントゲン検査・エコー検査の画像を飼い主様と一緒に見ながらご説明させて頂きます。
- 3.電子カルテ

犬専用診察室は全部で4つ。
他診察室と同様に未だ室内を改装中……
診察はもちろんの事、ペットと飼い主様の双方が抱える問題・悩みなどに対し真摯に向き合い、じっくりお話しできるような空間作りを目指しています。
部屋の名前も”Examination room”ではなく”Consulting room”としています。

造作家具は現在制作中……
ソファや棚など完成次第、順次模様替えしていきます！
リラックスできる落ち着いた雰囲気のお部屋にしていきたいと考えています。





1.3Fエマージェンシー室/ねこ・うさぎ入院室に隣接

2.4Fエマージェンシー室/犬入院室に隣接

－ エマージェンシー室（緊急処置室） －

当院では手術室とは別に救急時に心肺蘇生を行うエマージェンシー室を設置しています。急性期ICU管理をより充実したものとすべく、人工呼吸器や生体情報監視モニターを用いて動物の呼吸循環器系の変化を感知し、状態に応じた管理を行うことができます。

当院では入院時や来院時にもすぐに対応できるよう、各階に設置しております。緊急時にも早急に対応ができるのでご安心ください。

*いま現在、改装中の関係で3階、4階のみのご紹介となりますが近々他の階も完成予定です。



コードブルー

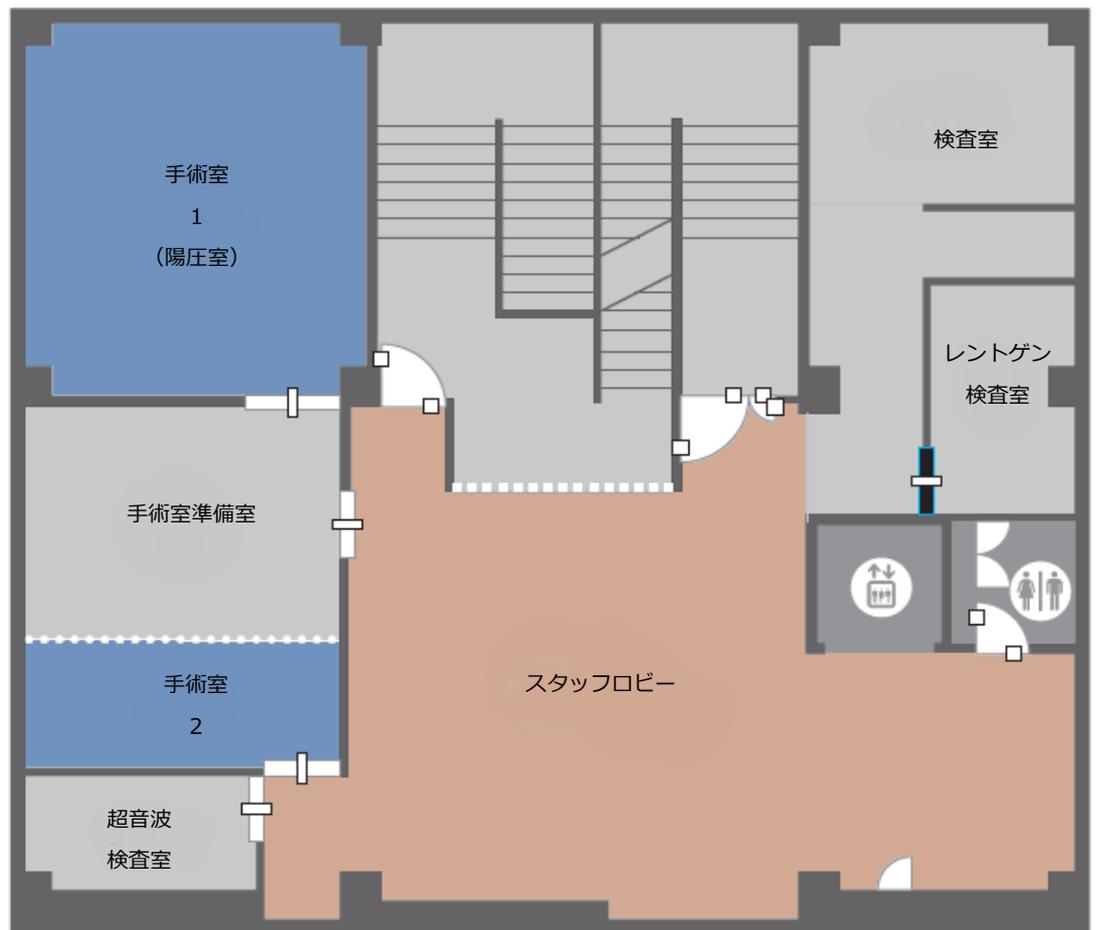
コードブルーとは緊急時に院内スタッフをより多く集めるための緊急ブザーです。院内で救急処置を必要とする患者様がいた場合、院内スタッフをすぐに呼び出せるようにブザーで知らせることができます。



エマージェンシーBOX

エマージェンシーBOXとは緊急時により早く救急処置を必要とする患者様に対応できるよう準備してある救急箱です。中には注射器や注射薬等が入っています。

2F



検査機器紹介

手術室 (手術室1、手術室2)

スタッフロビー



血液検査機器



1F/3Fに配置。主に血液検査を行います。
犬・ねこ其々の診察室の隣にあり、スムーズに検査を行うことができます。
このように検査機器が複数あるので、同時進行が可能になりました。

輸血血液保存用 冷却遠心機・冷蔵庫



1.遠心分離機
2.冷蔵庫
採血した血液は、適切な処理を行ったのち、専用の冷蔵庫で保存します
赤血球は約1か月
血漿成分は1～3年保存し、必要なときに使用します。

レントゲン検査室 (デジタルX線診断システム)



動物への放射線の照射線量を抑えつつ、鮮明な画像を得ることができます。
撮影した画像はその場でデジタル化され、電子カルテに反映されます。

エコー検査室



専用の検査室ができました。
柔らかいマットや酸素ポンベの常備により、動物への負担を最小限に、より安全にエコー検査を行うことができます。



さらに、最新鋭のエコー機器を1台導入しました。
評価が難しいねこの心臓などでも、従来の機器に比べて鮮明な画像を得ることができます。

臨床検査室



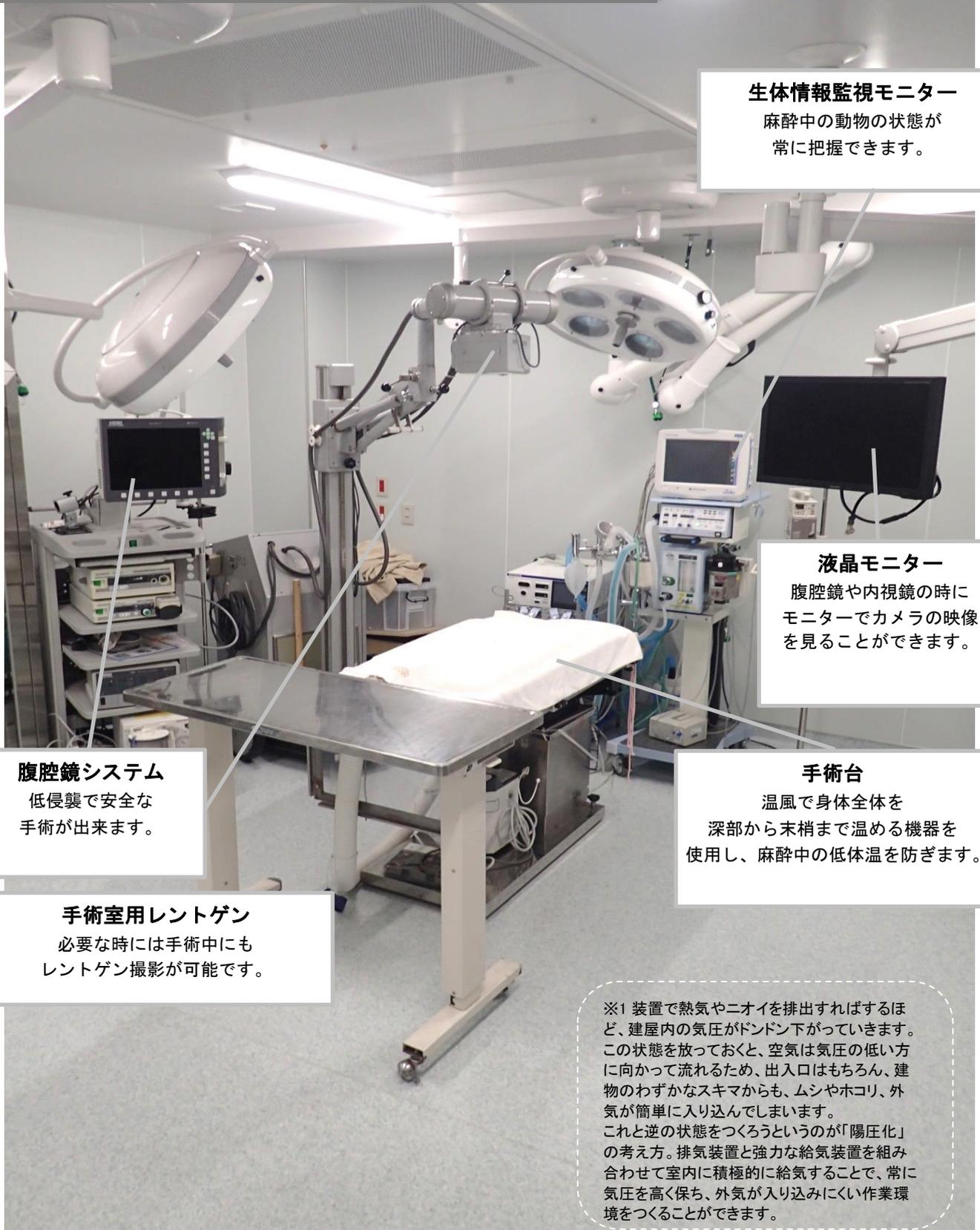
2階にも検査室ができました！
新しくチャンバーを導入し、毎日検査をするスタッフが薬品を吸入しないよう安全に配慮しています。



検査室内の、顕微鏡ゾーン。
検体をその場で確認することができます！

— 手術室 —

陽圧換気システム(※1)により外部からの微生物や埃の侵入を防ぎ、より衛生的で広い快適な空間へと生まれ変わりました。



生体情報監視モニター

麻酔中の動物の状態が常に把握できます。

液晶モニター

腹腔鏡や内視鏡の時にモニターでカメラの映像を見ることができます。

腹腔鏡システム

低侵襲で安全な手術が出来ます。

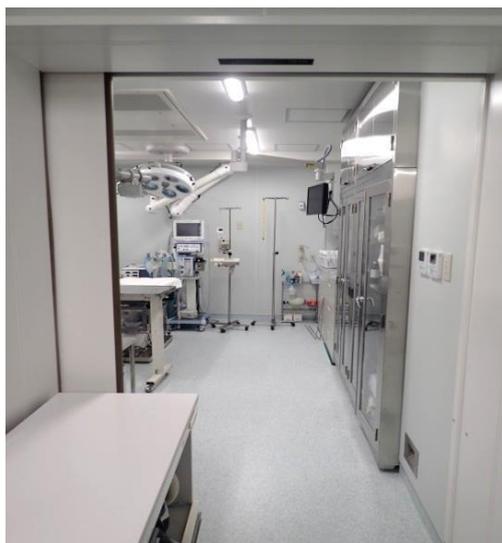
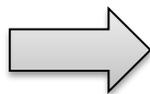
手術室用レントゲン

必要な時には手術中にもレントゲン撮影が可能です。

手術台

温風で身体全体を深部から末梢まで温める機器を使用し、麻酔中の低体温を防ぎます。

※1 装置で熱気やニオイを排出すればするほど、建屋内の気圧がドンドン下がっていきます。この状態を放っておくと、空気は気圧の低い方に向かって流れるため、出入口はもちろん、建物のわずかなスキマからも、ムシやホコリ、外気が簡単に入り込んでしまいます。これと逆の状態をつくらうというのが「陽圧化」の考え方。排気装置と強力な給気装置を組み合わせて室内に積極的に給気することで、常に気圧を高く保ち、外気が入り込みにくい作業環境をつくることができます。



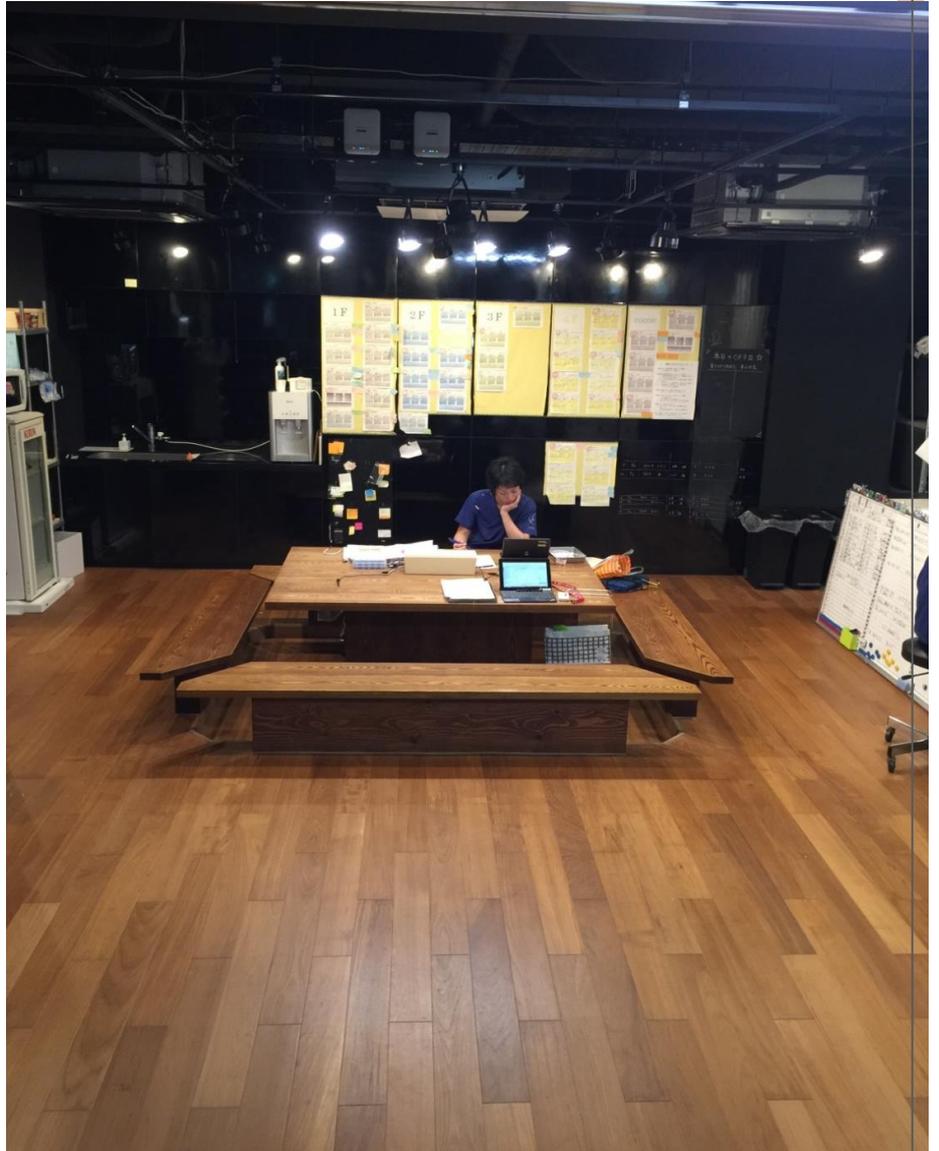
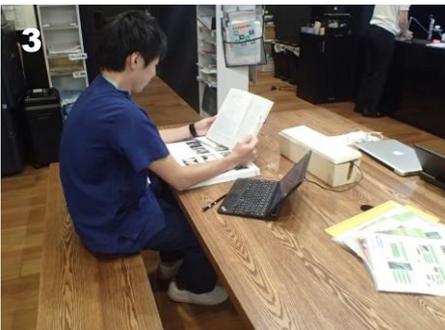
手術室の扉はフットスイッチの自動扉に

より安全で快適な環境で
手術に臨むことが
出来るようになりました



— スタッフロビー —

他の階とはガラリと雰囲気を変え、黒と木で統一された落ち着いた空間。
 休憩、学習、談話、朝と夕方のミーティングなどに活用する全スタッフ共有の場所。
 全員が通る場所にあるので、誰が何をしているなど周りの状況がよくわかります。



1.毎日ホスピタリティーを高める為の目標が個々に書かれています。今月の目標は院内美化！スタッフ総出で院内をピッカピカに☆ **2.**書籍/壁一面に並んだ本。ここでたくさんの本と資料で勉強したり教え合ったり、毎日が向上心に燃えています☆ **3.**勤務終了後に症例の学習をする獣医師

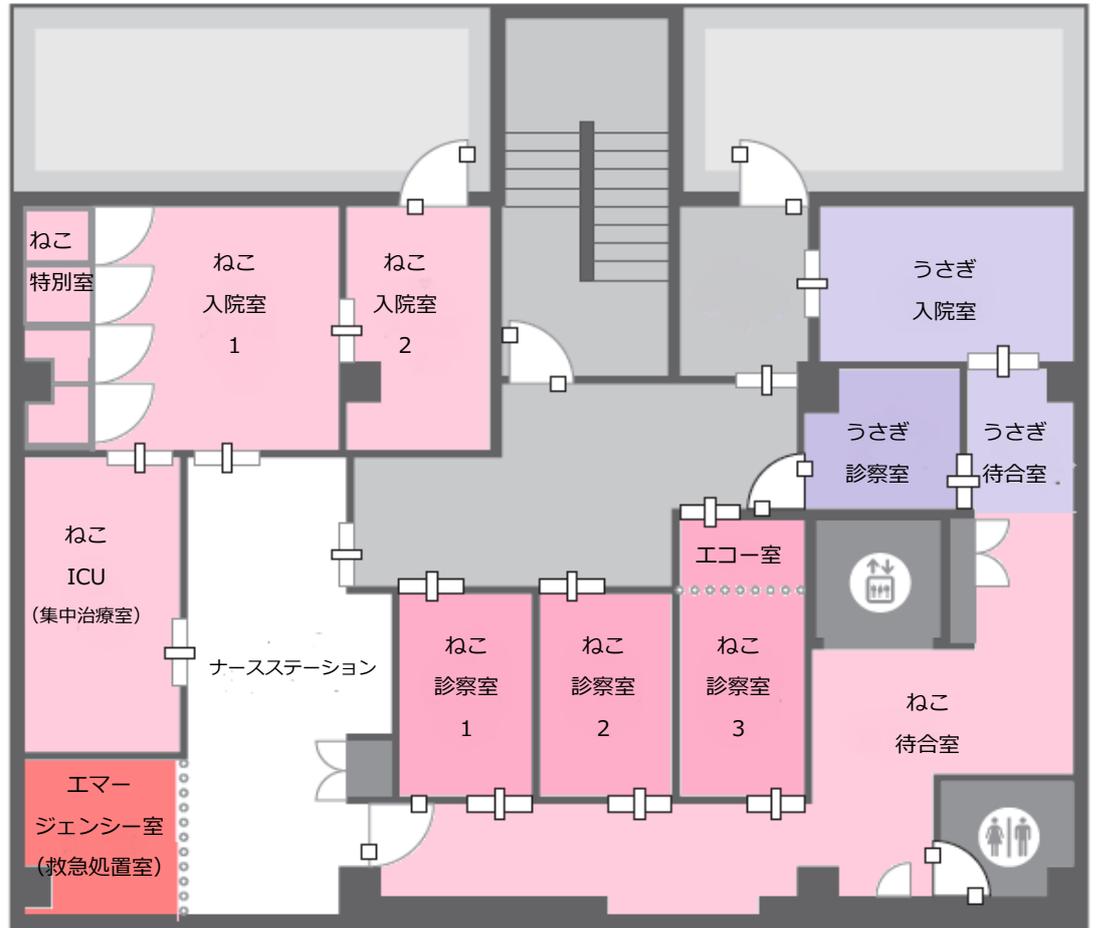


4.壁一面、ホワイトボード改めブラックボードになっています！/ホワイトマーカーで入院患者情報やOP日程など全スタッフ共有事項を書き込みます。 **5.**まさかの壁面収納!!/ブラックボードは壁面収納の扉を利用しています。扉を開けたら...そこは床から天井までの大容量な収納スペースです!!



6.7.部門間交流の場/入院の子の情報を獣医師と看護師で共有。さらにトリマー・受付・獣医師と、勤務中にあまり会えない部署の人達との談話のスペース。





ねこ/診察室・入院室・ICU (集中治療室)

うさぎ/診察室・入院室





※造作家具作成中……
もうしばらくお待ちください



1.みんな大好きキャットウォーク/病院が苦手なねこちゃんもリラックスできる工夫がいっぱい!!
ねこちゃんの遊び場としてだけでなく、高さを変えて歩様や関節炎のチェックにも利用できます。



— ねこ診察室 —

ねこ専用診察室は全部で3つ。
ねこちゃんはお外に出るのも、移動するのもストレスになります。
ましてや知らない空間でもなると……
そんなねこちゃんのために、診察室内はご自宅の一室であるかのようにねこちゃんが家と同じように診察室内をゆったり歩き回れるような空間作りを目指しています。

その第一歩がキャットウォーク☆
全ての診察室に完備。その他の造作家具も現在制作中……
ソファや棚など完成次第、順次模様替えしていきます！

診察室内で簡易的な処置や検査が行えるよう、ねこチームを中心に様々な工夫を凝らしています。

エコー完備の診察室があるのもそのうちの一つ。
このエコーは移動式なので、同階の入院室でも活躍！入院中の子の移動の負担を少なくし、その場での検査が可能になりました。

— ねこ入院室 —

ISFM(国際猫医学会)の基準を満たした広いケージ！
しきりにはドアがあり自由に行き来が出来ます。
改装に伴い特別入院室も完備！上下運動の可能な2階建てで、
思いっきり遊べます。
お部屋の中にある窓から外を眺めることが出来ます。
春には桜が見えますよ…♡



1.特別入院室/縦に広がる空間、壁にはキャットウォーク付。上下左右でつなげる事もできレイアウトを変えることもできます。
2.普通入院室/真ん中の仕切りをはずし、横に大きく使う事も出来るお部屋です。

— ねこ集中治療室 (ICU) —

入院室と同様にISFM(国際猫医学会)の基準を満たした広いケージ。
人の出入りや物音でストレスを与えないよう、ガラス張りに。
外のナースステーションからでも中の様子が分りますので、
ドアの開閉数を極力抑えています。
同室には酸素・温度・湿度をデジタル管理する高性能ICUユニットを完備。酸素発生器も音の静かな物を使用しています。



3. ナースステーションから見たICU





※造作家具作成中……
もうしばらくお待ちください

— うさぎ診察室 —

とうとう、夢にまでみたうさぎ専用のエリアが確立されました！
現在少しずつ始動している診察室では、
従来の高さのある処置台は設置せず、
飼い主様と座った状態での診察を行っています。



— うさぎ入院室 —

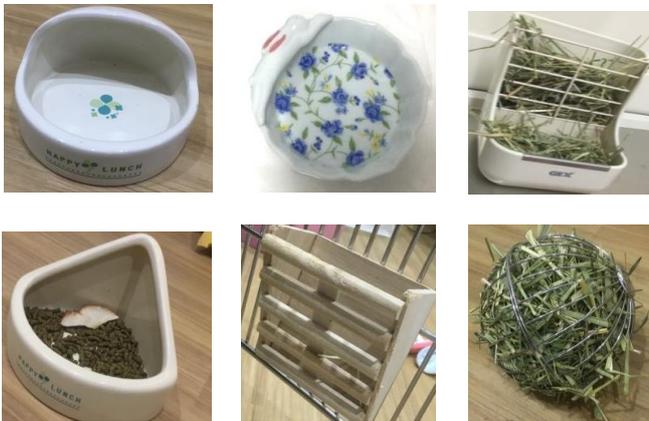
入院室の全貌は未だ未完成で現在進行中ですが、
うさぎ専用のお部屋が実現し、
静かで過ごしやすい環境が整いました。
今後の改装に、まだまだ期待が膨らむばかりです。



1



2



3



4



1.床材/さまざまな種類をとりそろえ、足元が滑らない工夫や、その子
その子に応じた床材を使用しています☆ 2.食器や牧草入れなどの小
物にもこだわり、年々院内うさぎグッズが増えてきました！ 3.特設お
散歩サークル/入院中はとくに、からだを動かし排便を促すことも重要
です。 4.給水ボトルも用意しています。

4F



犬/入院室・ICU (集中治療室)

隔離室

屋上





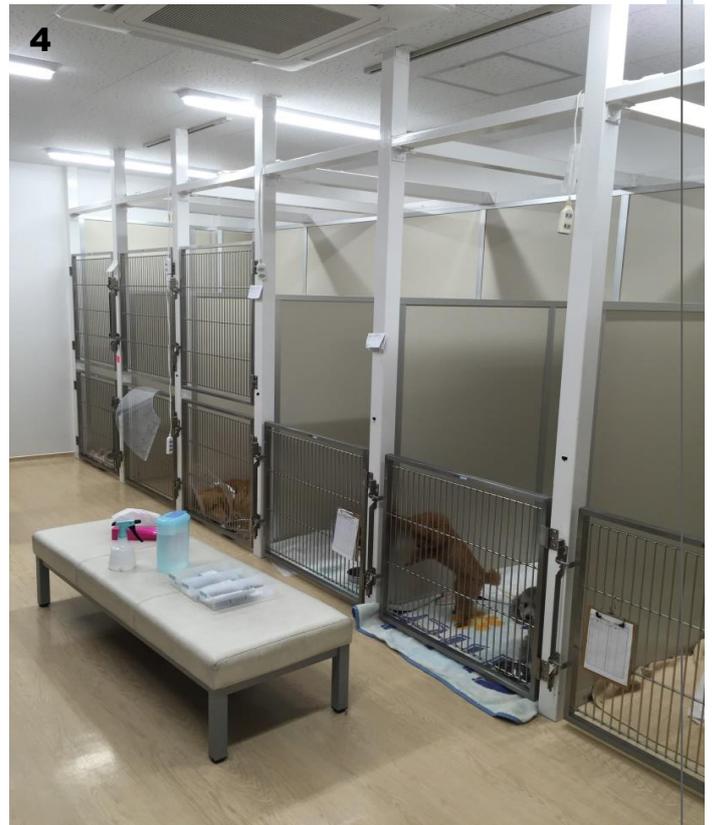
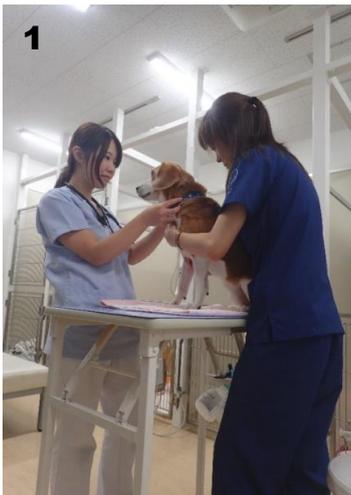
— 犬入院室 —

全身窓から差し込む光により、以前より明るく過ごしやすい環境が整いました。小型～大型の子までお預かりできる入院室を設け、特室スペースではお部屋の中で一緒に面会が可能です。

現在、犬入院室は本館4F に位置しますが、今後更なる改装により新棟3F に新設予定です。



1.従来までなかった犬舎用の処置台が設置されました。移動の負担を最小限に **2.**トイレと寝床は別々に **3.**特に大きい子やジャンプが得意な子はこちらの二重扉で安心 **4.**特室/大型の子だけでなく、術後のリハビリにも適したお部屋です。



－ 犬集中治療室 (ICU) －

ICUとは(Intensive Care Unite)内科・外科に問わず、呼吸・循環・代謝・その他の重篤な急性機能不全の患者を收容し、強力かつ集中的に治療を行う入院室です。獣医師・看護師が全体を一望し、常に状態の変化に対応できる環境を整え24時間体制で治療や看護にあたっています。同フロアに緊急処置室が隣接し、緊急時にも迅速に処置を行うことができます。



1.酸素発生器 **2.**ICUユニット/ 酸素濃度・温度管理が可能です。体温や呼吸回数など患者様に必要な項目をモニタリングし、電子カルテで共有しています。僅かな変化にもすぐさま気づくことができます。**3.**獣医師・看護師が常に24時間常駐し、緊急時にもすぐに対応できるよう備えています。





24時間換気システムを採用し、いつでもきれいな空気を循環させています。
部屋を陰圧に保っています。これにより周囲への空気感染を防ぐことができます。

— 隔離室 —

個室の隔離入院室。

第一隔離室は感染力の強い感染症の子用の入院室、
第二隔離室は外部寄生虫などの感染症の子用の入院室と
二部屋に分かれています。



1.カメラ/24時間部屋の様子をチェックできます。
2.院内感染を広げないように使い捨てのガウン・手袋・シューカバーを着用し看護にあたります。
また、隔離室では其々の感染症に応じた消毒薬を使用しています。



ー屋上・パドックスペースー

走り回っても足への負担が少なくなるように
 屋上は一面ゴム素材で滑りにくく、クッション性が高いもので仕上げています。
 スタッフ皆でご飯を食べたりと憩いの場としても大活躍☆
 何ととっても夜景が素敵です☆彡



1.ウッドデッキ/ここだけは火が使えるのでバーベキューもできます(*^^*)
2.3.スタッフ皆でBBQ☆彡

インタビューテーマ

- ① 獣医or看護師を目指したきっかけは？
- ② 休日の過ごし方は？
- ③ 自分を動物に例えると？

写真は当院のダル男くんと。

- ① 小さい時から動物が好きで、生活を共にしてきました。そんな動物と携われる仕事に就きたいと思ったからです^^
- ② 運動、買い物、美味しいもの探し
- ③ 豚
実は豚は綺麗好きな動物です。僕は片付けは苦手ですが、シャワーを浴びることは好きで1日2回は最低でも浴びます。笑



写真は当院のタムちゃん。

- ① 物心ついた頃には動物が好きで、動物の命に関わる仕事がしたいと思い、幼稚園の時にはすでに獣医に憧れていました(笑)
- ② サイクリング、ダイビング、島巡り
- ③ ニホンザル



写真は当院の鉤ちゃん。

- ① 小学生の時、飼っていたハムスターを見てくれていた病院の看護師さんがとても優しく、不安な気持ちが少しだけなくなったのを忘れられず気付いたら看護師を目指していました！
- ② 自分の家の子のお世話をしたりゆっくり遊んだり、家の中でまったりしています。
- ③ ねずみ
チヨロチヨロ歩き回ったり、大きい音に過剰にビックリする動きが似ているとよく言われます！



写真は当院の若さちゃんと。

- ① きっかけは、自分の飼っていた猫の様子の変化に気付いてあげられなくて、その子をなくしてしまったからです。
- ② 猫と戯れたり、掃除や洗濯、洗い物とかです。
- ③ リスだと思います。前歯二本が大きいので、よくリスとかげっ歯類に似てるといわれます(笑)



写真は当院のさわらちゃんと。

- ① 動物が大好きだから。
・小学生の頃、飼っていた猫を動物病院に連れて行き、その病院の優しい獣医さんと看護師さんに憧れて。
- ② 本を読んだりしてのんびり過ごすことが多いです。
- ③ 猫？
理由は、日なたと、寝るのが好きだから。





10 2016 October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



11 2016 November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



12 2016 December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ご予約はお電話、HPもしくは
直接スタッフまでお問い合わせください

Tel 03-3378-3366

各教室のご案内 いずれも予約制



【しつけ教室】
毎週月曜日
(祝除く) 12:30~
1000円(抜)



【パピークラス】
毎週火曜日
(祝除く) 12:30~
全3回 1500円(抜)



【はみがき教室】
第2・4木曜日 12:30~
第1日曜日 18:30~
500円(抜)

携帯電話はマナーモードに

音に敏感な子もいらっしゃいます。びっくりさせてしまう事のないよう、音の出ないような設定をお願い致します。また入院の子にご面会される際は、電源をお切りくださるようお願い致します。

オフリードはご遠慮ください

当院には5種類の動物たちが来院する他、中には他の子が苦手な子もいらっしゃいます。お待たせしてしまう事が多々ありますが、トラブルを未然に防ぐために、ご協力をお願い致します。

献血のお願い
ひとつでも多くの命を救いたい

わんちゃん、ねこちゃんも輸血が必要なことがあります。しかし人のように献血システムが確立されておらず、

必要な血液の確保が困難な状況です。

おかげさまで2015年度もドナーになってくれた動物たちのおかげで54匹もの動物たちが輸血を受け治療に結びつけることが出来ました。ご協力して下さったわんちゃん、ねこちゃん、本当にありがとうございます!!

引き続き、ご協力頂けるわんちゃん、ねこちゃんを募集しています。

こんな子を募集しています!

- * 健康なわんちゃん (満1~7歳)
- * 健康でお部屋飼いのねこちゃん(満1~8歳)
- * 交配経験のない男の子
 - ・妊娠、出産歴が無い女の子
- * 定期的に必要な予防を受けている子

エレベーターの使用に関して

ペットのリードやマフラーなど、長いひも状のものは、注意が必要です。閉まる前の無理なかけ込みはやめましょう。乗降時はペットと離れないようにリードは短くまとめて持つか、ペットをなるべく抱えてください。

information

ねこちゃん・うさぎさんへ

正面入り口入って右側は **ねこちゃん・うさぎさん専用のロビー** とさせて頂いております。
緊張しがちなねこちゃんやうさぎちゃんが少しでも快適に待合室をご利用頂けるよう皆様のご協力をお願い致します。
また、待合室でお使い頂けるように **キャリーカバー** をご用意いたしました。
ご希望の方は、受付までお申し付け下さい。





JAMC

通常診療受付時間

	平日	土日祝
9:00 ~ 12:00	○	○
12:00 ~ 14:00	緊急のみ	○
14:00 ~ 17:30	○	○
17:30 ~ 20:30	○	---

- 予約診療
9:00~17:00 状況に応じてお受けしております。
担当医の指名も可能です。
- 緊急診療
24時間受付しております。
- 面会・相談時間
11:00 ~ 12:00・14:00 ~ 17:00
- 入院中容態等のお問合わせ
11:00 ~ 17:00

救急・夜間診療のご案内



24時間365日夜間救急対応!

まずは **03-3378-3366** までお電話を!

当院では、常に獣医師と看護師が常勤しており、夜間の緊急時の診療も対応しています。また、必要に応じて緊急手術や手術後の入院の受け入れも行っています。

- 来院時に迅速な対応ができるよう、お電話で症状をお知らせください。
(飼い主様と動物のお名前、動物種、年齢、性別、来院時間も併せてお聞かせください。)
- お問い合わせが集中しているときなど電話がつながりにくい場合があります。
お手数ですが、しばらくたってからおかけ直してください。
- 緊急性や重症度の高い動物の対応を優先していますので、状態に応じて順番が前後してしまうことや待ち時間が長時間になることもありますのでご了承ください。
- 緊急時にはお預かりして、救命処置を進めさせていただくことがございます。



来院時に必要なもの



お支払に関して

各種クレジットカードまたは現金でのお支払対応も可能です。
時間帯により、別途時間外料金が発生します。



動物健康保険に加入の場合

夜間診療時は、保険窓口清算対応しておりません。
飼い主様ご自身でお手続きをお願いいたします。

当院へのアクセス

電車:京王新線『幡ヶ谷』北口をでて徒歩8分

バス:京王バス45番【新宿西口~中野駅】乗車

『本町一丁目』下車

車:首都高速4号新宿線 『初台』もしくは『幡ヶ谷』出口

